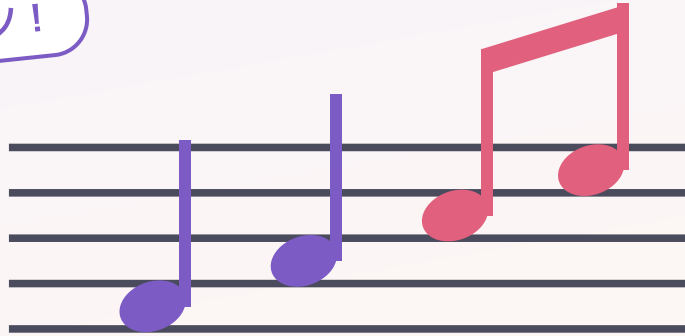


ドミソ!



重ねると豊かな響き

和音のしくみ

音を重ねると、新しい響き生まれる



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

和音のきほん	3～6
主要三和音	7～8
和音の性質	9～10
和音を使う	11～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

音と音の高さの差を、音程といいます。

interval

ポイント

- やってみよう

1. 「ド」と「ミ」を同時に声に出してみよう。どんな響きがしましたか。

書いて覚えよう

3つの音を重ねると、三和音になります。

triad

3つの音を、1つ飛ばしで重ねた和音

ポイント

- 三和音は、和音の中でもいちばん基本の形です。
- 「1つ飛ばしで重ねる」とは、ドの次のレを飛ばしてミを重ねる、という意味です。

やってみよう

1. 「ド・ミ・ソ」は、ドから1つ飛ばしで音を重ねたものです。同じように「レ・ファ・ラ」も1つ飛ばしになっていますか。

書いて覚えよう

4

ドミソの和音

「ドミソ」は、もっとも基本的な和音です。

ドミソを順番にひくと



本当は3つの音を同時に鳴らしますが、ここでは分かりやすいように1つずつ順に表しています。

ポイント

- 「ド・ミ・ソ」を同時に鳴らすと、明るく安定した響きになります。
- この和音は、ハ長調の中心となる和音です。

やってみよう

1. けんばん楽器があれば、ド・ミ・ソを同時におしてみよう。

書いて覚えよう

調の中には、とくによく使われる3つの和音があります。

primary triads

その調の中で、とくに大切な3つの和音（Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ）

ポイント

- 主要三和音は、音階の1番目・4番目・5番目の音を土台にして作られます。
- 多くの曲は、この3つの和音の組み合わせだけでも、伴奏をつけることができます。

やってみよう

1. 「主要」という言葉には、どんな意味があると思いますか。

書いて覚えよう

3つの主要三和音を、それぞれ確認しよう。

8

長三和音と短三和音

和音にも、明るい響きと暗い響きがあります。

特ちょう		響きの感じ
長三和音	下から明るい間かくで積み重ねる	明るく、はればれとした響き
短三和音	下から暗い間かくで積み重ねる	しんみりした、落ち着いた響き

ポイント

- 「ド・ミ・ソ」は長三和音、「ラ・ド・ミ」は短三和音の代表例です。
- 同じ3音の重ね方でも、間かくのちがいで響きの明暗が変わります。

やってみよう

- 「ド・ミ・ソ」と「ラ・ド・ミ」、聴きくらべられるなら試してみよう。感じのちがいを書こう。

書いて覚えよう

いろいろな和音を聴きくらべてみよう。

10

ピアノなどのけんばん楽器で、和音をひいてみよう。

- 和音をひくときは、3本の指で同時にけんばんをおさえます。
- 最初はゆっくり、1つずつ音を確認しながらおさえてみましょう。

やってみよう

1. けんばん楽器があれば、ド・ミ・ソを3本の指で同時におしてみよう。

書いて覚えよう



3人で、ド・ミ・ソをそれぞれ歌ったら、和音になるね。

ひとりじゃ出せない響きが生まれるのが面白いね。

- 合唱で声が重なるのも、和音の一種です。
- それぞれがちがう音を正確に保つことが、きれいな和音を作るコツです。

1. 友だちや家族と3人で、ド・ミ・ソをそれぞれ担当して同時に歌ってみよう。

- 多くの曲では、メロディの音は、その部分で鳴っている和音の音と関係しています。
- 和音を土台にすることで、メロディが安定して聞こえます。

1. 好きな曲のメロディを1フレーズ思い浮かべ、どんな和音が支えていそうか想像してみよう。

和音の名前（コードネーム）入門

和音には、アルファベットの名前がついています。

コードネーム	使われる音（例）
C（シー）	ド・ミ・ソ
F（エフ）	ファ・ラ・ド
G（ジー）	ソ・シ・レ

ポイント

- コードネームは、アルファベットのCが「ド」を表すなど、音の名前から作られています。
- ギターの弾き語りの楽譜などで、よく見かける表記です。

やってみよう

1. 「ド・ミ・ソ」のコードネームは何ですか。

書いて覚えよう

きれいな響き・にごった響き

和音には、澄んだ響きとにごった響きがあります。

ポイント

- となり合った音（ドとレなど）を同時に鳴らすと、少しぶつかったような、にごった響きになります。
- 1つ飛ばしで重ねた音（ドとミなど）は、比かくのすっきりとした響きになりやすいです。
- にごった響きも、音楽の表現としてわざと使われることがあります。

やってみよう

1. 「ド・レ」を同時に、「ド・ミ」を同時に鳴らしてみよう。響きのちがいを書こう。

書いて覚えよう

和音を聴き分ける

明るい和音と、暗い和音を聴き分けてみよう。

ポイント

- 長三和音は明るく、短三和音はしんみりした響きに聞こえやすいです。
- 何度も聴きくらべることで、少しずつ耳が慣れていきます。

やってみよう

1. 身近な楽器や音源で和音を鳴らし、明るい・暗いのどちらに近いか判断してみよう。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

2. けんばん楽器があれば、実際に和音をひきながらメロディを歌ってみよう。

- 最初は1の和音だけでも、伴奏らしい雰囲気が作れます。

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

和音を、声や楽器で重ねてみよう。

A (歌う) ド

B (重ねる) ≡

A・B (合わせて)

 (別の和音で) ファ・ラ・ド

ポイント

- ちがう音を同時に保つのは、最初は難しく感じるものです。
- 何度も練習して、少しずつ声を合わせていきましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達へのステップです。

つまずき

よくあること

和音を弾くと音がにぎる

指の位置がずれてしまう

長三和音と短三和音が区別できない

似た響きに聞こえる

コツ

こうしてみよう

1音ずつ確認する

ゆっくり音を積み重ねる

聴きくらべる回数を増やす

何度も交ごに聴いて慣れる

ポイント

- 少しずつ確認しながら練習すれば、耳と指が慣れていきます。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

和音の基本

☐ 和音

音を同時に重ねたもの

☐ 音程

2音の高さの間かく

☐ 三和音

3音を重ねた和音

主要三和音

☐ I の和音

調の中心になる和音

☐ IV の和音

サブドミナント

☐ V の和音

ドミナント

和音の性質

☐ 長三和音

明るく聞こえやすい

☐ 短三和音

しんみり聞こえやすい

☐ コードネーム

和音を表すアルファベット

響きと役目

☐ 伴奏

メロディを支える部分

☐ きれいな響き

澄んだ響き

☐ にごった響き

音がぶつかる響き

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。和音を知ると、伴奏の仕組みが見えてきます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|-------------------|
| 和音 | ● | ● ア. 調の中心になる和音 |
| 三和音 | ● | ● イ. メロディを支える部分 |
| I の和音 | ● | ● ウ. 和音を表すアルファベット |
| 伴奏 | ● | ● エ. 音を同時に重ねたもの |
| コードネーム | ● | ● オ. 3音を重ねた和音 |

2. 和音の音を書こう

1. I の和音（ハ長調） → _____
2. IV の和音（ハ長調） → _____

3. 正しい言葉を選ぼう

1. 明るく聞こえやすい三和音 → （長三和音 / 短三和音）
2. しんみり聞こえやすい三和音 → （長三和音 / 短三和音）

書いて覚えよう

書いて覚えよう

ドミソを声で重ねてみる

頭の中で和音を思い浮かべる

長三和音・短三和音を歌いくらべる

けんばん楽器で和音をひく

和音ノートに1行書く

家族と和音クイズを出し合う

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。

発表してみよう・感想を書こう

和音を使った演奏を、人に聴いてもらおう。

発表した和音

使った楽器・声

気づいたこと

聴いてほしい人

Ken の例

発表した和音 ド・ミ・ソ／使った楽器 ピアノ／気づいたこと 3音そろうと安心する響きになった

感想を3文で書こう

① 和音を学んで、～な発見がありました。② とくに、～のところが面白かったです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

和音の世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

けんばんで

いろいろな和音をひいてみる

楽譜を見る

コードネームをさがす

合唱で

声の和音を体感する

次のステップ

反復記号

楽譜の道順を学ぶ

楽譜を読んで歌う

和音を意識して歌う練習

伴奏

自分で伴奏をつけてみる

ポイント

- この教材の次は「反復記号と楽譜の道順」。楽譜の読み方をさらに広げていきます。

書いて覚えよう

1. 和音とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん好きな和音の響きは？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

和音のしくみチャレンジ

教室の外でも、和音の学びはすぐに楽しめます。

鳴らそう

身近な楽器や声で**和音**を作ってみる

聴こう

好きな曲の伴奏の和音に注目して聴く

さがそう

コードネームが書かれた楽譜をさがす

こたえ

L18 1. ド・ミ・ソ 2. トニック 3. 長三和音

L33 (例) 和音は、2つ以上の音を同時に重ねたもの。

L26 和音→エ 三和音→オ | の和音→ア 伴奏→イ コードネーム→
ウ 2. ド・ミ・ソ / ファ・ラ・ド 3. 長三和音 / 短三和音

書いて覚えよう

和音のしくみ (Season 2 | No.18)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。